

定期的な検査の流れと感染者が発生した高齢者施設等への支援

別添 2

検査の効果

- 無症状者に対する定期検査により早期発見されれば、感染者、職員の離脱は最小限に抑えられる可能性が高い。
- 感染の発見が遅れば、感染者、職員の離脱が増大するおそれがある。

平時の対応

定期的検査（スクリーニング検査）

- 平時から、感染者発生時に備えて、職員確保を含めた感染対策等に係るシミュレーションを促進
(机上訓練シナリオ、業務継続ガイドライン、事例集、マニュアル、動画、実地研修 等の活用)

陰性

陽性

保健所による再検査(行政検査)

陰性

陽性

勤務継続
(14日間の健康観察対象外)

宿泊療養/
自宅療養/
入院

濃厚接触者特定
(14日間健康観察)

陽性者発生時の検査
(検査が必要とされた職員・入所者)

陰性

陽性

勤務継続/
健康観察

宿泊療養/
自宅療養/
入院

濃厚接触者特定
(14日間健康観察)

検査後感染が判明した場合の対応

北九州市・福岡県による支援

感染が確認された場合には必要に応じて

- 保健所や感染管理専門家等がゾーニング等の感染管理に関する相談・支援を実施
- 不足する衛生資材を提供
〔北九州市保健所又は北九州市介護保険課にご相談ください〕

各施設・法人内の調整でも職員の不足が見込まれる場合には

- 派遣職員の調整を実施
〔北九州市介護保険課にご相談ください〕

通常のサービス提供で想定されない費用がかかった場合には

- サービス提供体制確保事業にて助成〔福岡県〕